

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-181989

(43) 公開日 平成11年(1999) 7月6日

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>

E 0 4 F 13/04

識別記号

1 0 9

F I

E 0 4 F 13/04

1 0 9 A

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-347789

(22) 出願日 平成9年(1997)12月17日

(71) 出願人 595027099

株式会社ニッケンビルコン

東京都江東区木場2丁目8番3号

(72) 発明者 杉山 捷治

神奈川県川崎市川崎区出来野3-1-106

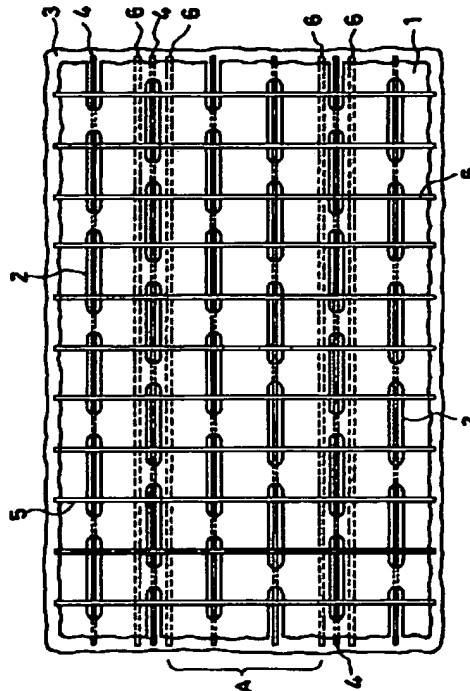
(74) 代理人 弁理士 山名 正彦

(54) 【発明の名称】 モルタル壁下地材

(57) 【要約】

【課題】 建築物のモルタル壁施工の際に用いられるモルタル壁下地材を提供する。

【解決手段】 複数のスリット孔2を開けた表面紙1と裏面紙3との間に横の鉄線群4を挟み、同表面紙1の外側に縦の鉄線群5が前記横の鉄線群4と交差するよう配置され、縦・横の鉄線群5、4は前記スリット孔2の位置における交点が溶接されメッシュが形成されているモルタル壁下地材であって、前記縦の鉄線群5は、横の鉄線群4との交点の二つ以上複数おきの位置に谷部5'が形成されており、前記表面紙1と裏面紙3は、前記縦の鉄線群5の前記谷部5'を挟む両側の位置のみを平行な帯状に糊付けされている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】複数のスリット孔を開けた表面紙と裏面紙との間に横の鉄線群を挟み、同表面紙の外側に縦の鉄線群が前記横の鉄線群と交差するよう配置され、縦・横の鉄線群は前記スリット孔の位置における交点が溶接されメッシュが形成されているモルタル壁下地材であって、前記縦の鉄線群は、横の鉄線群との交点の二つ以上複数おきの位置に谷部が形成されていること、前記表面紙と裏面紙は、前記縦の鉄線群の前記谷部を挟む両側の位置のみを平行な帯状に糊付けされていること、をそれぞれ特徴とする、モルタル壁下地材。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、建築物のモルタル壁施工の際に用いられるモルタル壁下地材の技術分野に属する。

## 【0002】

【従来の技術】建築物のモルタル壁施工の際に通常用いられるモルタル壁下地材は、種々な構造が開発され実用に供されている。従来のモルタル壁下地材は、例えば図4A、Bに示したように、長円形のスリット孔2を横一線上に、隣り合う列では千鳥状配置に開けている表面紙1と、防水性、断熱性を備えた裏面紙3との間に、横の鉄線群4を前記スリット孔2の横列に沿って各々平行に挟み、前記表面紙1の外側に縦の鉄線群5が前記横の鉄線群4と略直角に交差するよう垂直に配置され、前記両鉄線群4と5はスリット孔2の位置における交点が溶接されメッシュが形成されている。前記縦の鉄線群5には、横の鉄線群4との交点の二つおきの位置に谷部5'が形成され(図4B参照)、同谷部5'の深さによって表面紙1と裏面紙3との間に膨らみ(間隙)を確保し、塗布したモルタルが安定したモルタル厚を形成する構成とされている。

【0003】但し、従来のモルタル壁下地材は、前記表面紙1と裏面紙3との接着を、スリット孔2を避けた適当な位置に糊付け面6を帯状に設けて行っている(図4A、B参照)。

## 【0004】

【本発明が解決しようとする課題】上述したモルタル壁下地材は、表面紙1と裏面紙3との糊付けをスリット孔2を避けた適当な位置で行っていたため、下記するような問題点があった。

① 糊付け面6の間隔が密な場合、表面紙1と裏面紙3が無間貼りに貼り合わされてしまい、表面紙1と裏面紙3との間に膨らみ(間隙)を十分に取れないので、塗布したモルタルの付着量が必然的に制限される。そのため、表面紙1と裏面紙3との間に位置する横の鉄線群4にモルタルが十分に回り込まず、横の鉄線群4とモルタルとの付着度が悪く、安定で良好なモルタル壁を施工することが困難であった。

② 糊付け面6の間隔が疎な場合、表面紙と裏面紙との付着強度が不足し、モルタルを塗布する際の圧力で変形する、所謂腰折れ現象を生じる不都合があった。

【0005】したがって、本発明の目的は、上記問題点①、②を全て解消することであり、表面紙と裏面紙を、縦の鉄線群の谷部を挟む両側の位置のみで平行な帯状に糊付けし、(I)表面紙と裏面紙との間にモルタルが入り込み易い膨らみが確保され、横の鉄線群とモルタルとの付着度を良くし、安定で良好なモルタル壁の施工を可能にすること、及び(II)腰折れに対する強さを増し、施工性に優れ、安定で良好なモルタル壁の施工に寄与する、モルタル壁下地材を提供することである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記従来技術の課題を解決するための手段として、請求項1の発明に係るモルタル壁下地材は、複数のスリット孔2を開けた表面紙1と裏面紙3との間に横の鉄線群4を挟み、同表面紙1の外側に縦の鉄線群5が前記横の鉄線群4と交差するよう配置され、縦・横の鉄線群5、4は前記スリット孔2の位置における交点が溶接されメッシュが形成されているモルタル壁下地材であって、前記縦の鉄線群5は、横の鉄線群4との交点の二つ以上複数おきの位置に谷部5'が形成されていること、前記表面紙1と裏面紙3は、前記縦の鉄線群5の前記谷部5'を挟む両側の位置のみを平行な帯状に糊付けされていること、をそれぞれ特徴とする。

## 【0007】

【発明の実施の形態及び実施例】本発明に係るモルタル壁下地材の構成を、図1～図3に示した。横方向に長い長円形のスリット孔2が横一線上に列をなし、上下の列では千鳥状の配置に開いている表面紙1と裏面紙3との間に、横の鉄線群4が前記スリット孔2の位置に沿って各々平行に挟み込まれている。そして、前記表面紙1の外側に縦の鉄線群5が、前記横の鉄線群4と略直角に交差するよう垂直に配置され、縦・横の鉄線群5と4はスリット孔2の位置における交点がスポット溶接されメッシュが形成されている。前記縦の鉄線群5には、横の鉄線群4との交点の二つおき(但し、二つ以上複数おきで可)に略V字形の谷部5'が形成されている(図3)。そのため、前記谷部5'、5'の間の2本の横の鉄線群4、4は裏面紙3から浮上した形でメッシュを形成し、必然、同鉄線群4に沿う表面紙1も部分的に裏面紙3から浮上させ、表面紙1と裏面紙3との間に膨らみ(間隙)を確保し、塗布したモルタルが安定したモルタル厚を実現する構成とされている。前記縦の鉄線群5の谷部5'は、その頂部まで10mm程度突設された形状が好適に使用される。

【0008】前記表面紙1と裏面紙3は、前記縦の鉄線群5の谷部5'を挟む両側の位置のみを平行な帯状に糊付け6されている。よって、図1及び図3で示したA部

3

4

分（非糊付部分）における表面紙1と裏面紙3との間に膨らみ（間隙）を十分に確保でき、塗布したモルタルは横の鉄線群4に十分に回り込み、横の鉄線群4とモルタルとの付着度が良好に得られ、安定で良好なモルタル壁の施工を可能にする。一方、縦の鉄線群5の谷部5'を挟む位置が帯状に糊付け6されているので、表面紙1及び裏面紙3とは十分強固に接合され、縦・横の鉄線群5、4とのいわゆる3材の合成効果により腰折れ強さを増し、安定したモルタル塗布作業を実現できると共に、安定で良好なモルタル壁の施工を可能にする。

【0009】前記モルタル壁下地材は、710×1880～2040mm位の大きさである。前記横の鉄線群4は、50mm位の間隔で配置され、前記縦の鉄線群5は、40mm位の間隔で配置される。また、横の鉄線群4及び縦の鉄線群5は、共に外径が1.6mmや2.3mmの亜鉛引鉄線が好適に使用される。腐蝕防止、及びモルタル壁の剥落を長期間防止するためである。

【0010】なお、前記表面紙1には、ライナー紙やクラフト紙、前記裏面紙3には防水性、断熱性を備えた、例えばターボリン紙等が好適に使用される。前記スリット孔2の形状は、長円形に限らず、円形でも好適に実施される。前記スリット孔2は、水平方向及び垂直方向に規則的に設けても良い。

【0011】

【本発明が奏する効果】本発明に係るモルタル壁下地材によれば、表面紙と裏面紙は、縦の鉄線群の谷部を挟む両側の位置のみを平行な帯状に糊付けされるので、

1. 表面紙と裏面紙との間に膨らみ（間隙）を十分に確保でき、塗布したモルタルが横の鉄線群に十分に回り込むことができるので、横の鉄線群とモルタルとの付着度を良くし、安定で良好なモルタル壁の施工を可能にする。

2. 表面紙及び裏面紙とは十分強固に接合され、縦・横の鉄線群とのいわゆる3材の合成効果により腰折れ強さを増すことができるので、安定したモルタル塗装作業を実現できると共に、安定で良好なモルタル壁の施工を可能にする。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るモルタル壁下地材を示した正面図である。

【図2】本発明に係るモルタル壁下地材を示した分解斜視図である。

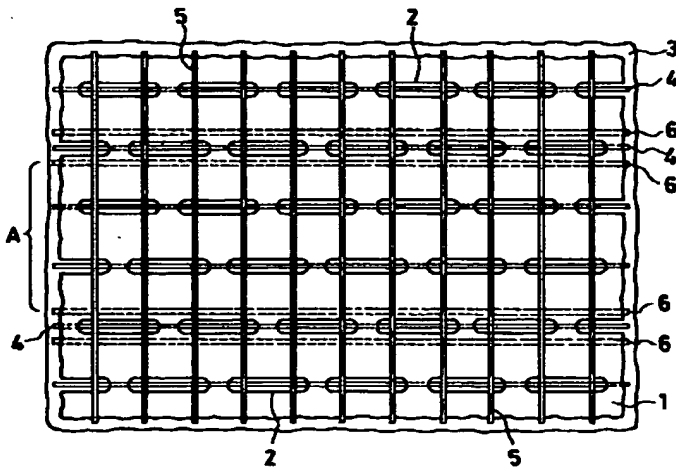
【図3】本発明に係るモルタル壁下地材を示した側面図である。

【図4】Aは、従来技術を示した正面図であり、Bは、同側面図である。

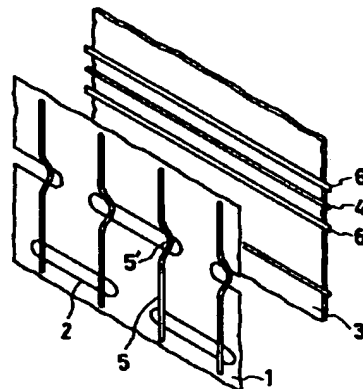
【符号の説明】

- |    |       |
|----|-------|
| 1  | 表面紙   |
| 2  | スリット孔 |
| 3  | 裏面紙   |
| 4  | 横の鉄線群 |
| 5  | 縦の鉄線群 |
| 5' | 谷部    |
| 6  | 糊付け面  |

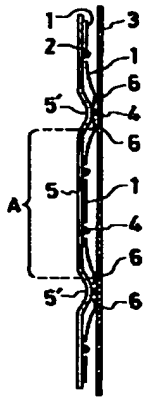
【図1】



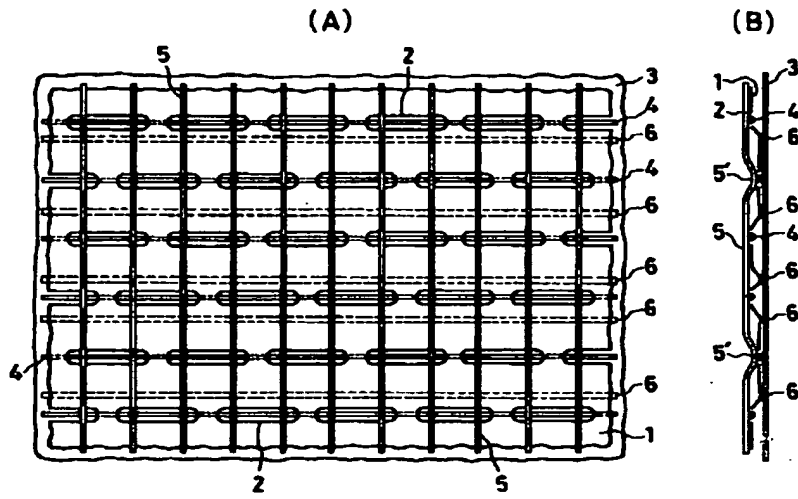
【図2】



【図3】



【図4】



**PAT-NO: JP411181989A**

**DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11181989 A**

**TITLE: MORTAR WALL BEDDING MATERIAL**

**PUBN-DATE: July 6, 1999**

**INVENTOR-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
<b>SUGIYAMA, SHOJI</b>	<b>N/A</b>

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
<b>NIKKEN BIRUKON:KK</b>	<b>N/A</b>

**APPL-NO: JP09347789**

**APPL-DATE: December 17, 1997**

**INT-CL (IPC): E04F013/04**

**ABSTRACT:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a mortar wall bedding material used for construction of a mortar wall in a building.

**SOLUTION:** In a mortar wall bedding material, a group of horizontal iron wires 4 are put between a front face paper sheet 1, in which a plurality of slit holes 2 are bored, and a back face paper sheet 3, while on the outside of the front face paper sheet 1, a group of vertical iron wires 5 are arranged so as to cross the group of horizontal iron wires 4, and the group of horizontal iron wires 4 are welded to the group of vertical wires 5 through their intersections positioned in the slit hole 2 positions, so that a mesh is formed. In the group of vertical iron wires 5, valley parts are formed every two or more intersections with the group of horizontal iron wires 4, and the front face paper sheet 1 and the back face paper sheet 3 are stuck to each other via parallel band type parts putting the valley parts in the vertical iron wires 5 between them by means of glue.

**COPYRIGHT: (C)1999,JPO**

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**